

地域保育学科

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

地域保育学科では、子どもは地域社会で育成するという子育て支援を核とした現代の保育ニーズに対応できる専門的知識・技術を習得させ、幅広い視野と豊かな人間性を有する保育者を養成するため、次に掲げる目標を達成した者に短期大学士の学位を授与する。

- 1.保育者として必要な教養や専門的知識を身につけていること。
- 2.主体的に学ぶ力を身につけ、保育の向上、自己の資質向上に取り組めること。
- 3.仕事やそれ以外の活動を通じ社会貢献できる力を有していること。
- 4.子どもの人権を守り、子どもの最善の利益を優先できること。
- 5.多様な問題に直面したとき、それを乗り越える精神的強さを有していること。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

地域保育学科では、学位授与の方針で示した目標を学生が達成できるよう、教養教育科目と専門教養科目を連携して教育課程を編成・実施する。

- 1.入学初年時には、大学における学びの全般を支え、専門教育の基盤となる教養教育科目を配置する。
- 2.専門教育科目は、保育の専門分野の体系に基づいて、知識・理論や実践的な技能をバランスよく学べるよう構成している。
- 3.地域保育学科の特色である子育て支援を核とした保育ニーズに対応できるよう、地域活動、心理学系、児童館関連の科目等に力を入れている。
- 4.保育者としての活動を深めるための多彩な資格取得や資質向上をめざした科目を準備している。
- 5.主体的・自立的な学びのまとめとしてゼミ形式による卒業研究を課している。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

地域保育学科では、次のような人の入学を期待している。

- 1.基礎的な学力を有し主体的に学ぶ意欲がある人
- 2.地域貢献や子育て支援に旺盛な興味と関心を持ち、積極的に諸活動に取り組める人
- 3.子どもと保護者の気持ちをあたたかく受け止め、自分自身も成長していくことができる人
- 4.自他の人権を尊重し、教養とマナーを備えた人

学習成果

地域保育学科の学習成果は、建学の理念である「愛され信頼される女性の育成」を体现し、学科の目的である「子どもは地域社会で育成するという理念に基づき、それに必要な専門的知識・技術を習得し、幅広い視野と豊かな人間性を有する保育者」として成長することにある。具体的には3年間の学びの中で、豊富な体験や多くの資格取得を目指しながら保育者として必要な教養や専門的知識・技術を身につけ、さらに保護者や地域社会とも自信を持って関わり合えることのできる力や、多様な問題に直面してもそれを乗り越える力を有することである。

学修成果の査定は、各教科における課題への取り組みや、発表、制作、定期試験等による成績評価を始め、各種実習先や地域活動先からの外部評価によって行われる。また保育士資格、幼稚園教諭二種免許を始めとする様々な資格取得状況やそれを生かした就職率や就職後の勤務状況からも行われる。

学修成果は、社会的に有用であり3年間で実現可能である。